

第 4530 号	 リーダスクラブ	1994年1月6日創刊・毎日発行
		リーダスクラブFAXニュース (2012年)平成24年 7月20日 金曜日

発行所 三輪厚二税理士事務所／顧問料不要の三輪会計事務所（編集・発行：税理士 三輪厚二）
大阪市中央区備後町2-4-6 TEL：06-6209-7191 WEB：<http://www.zeirishi-miwa.co.jp>

⇩ 収益・費用の認識基準

Q：収益と費用の認識基準は、どのようになっているのですか？

A：収益は実現主義、費用は発生主義により認識します。

【解説】

収益と費用は、認識の時期によって利益が変動することから、次のように認識基準が設けられています。

【収益】

収益は次のように実現主義を採っています。

① 中小会計要領

収益は、原則として、製品、商品の販売またはサービスの提供を行い、かつ、これに対する現金及び預金、売掛金、受取手形等を取得したときに計上する。

② 企業会計原則

売上高は、実現主義の原則に従い、商品等の販売または役務の給付により実現したものに限る。

【費用】

費用は次のように発生主義を採っています。

費用は、原則として、費用の発生原因となる取引の発生またはサービスの提供を受けたときに計上する。

【費用収益対応の原則】

このように収益は実現主義、費用は発生主義により認識しますが、収益とこれに関連する費用は、両者を対応させて期間損益を計算することとなっています。

